

平成 21 年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

研究課題名	ソフトコンピューティング技術による「てんかん」原性域の特定と低侵襲治療法の確立	研究代表者名 (所属・職)	山川 烈 (九州工業大学・継続研究員)
-------	---	------------------	------------------------

評価コメント (研究代表者へ開示)

本研究グループは、薬物が効を奏しない難治性「てんかん」に対する外科手術における安全性および有効性を高める低侵襲システムの確立という観点より、「てんかん」原性域を精度よく同定し、健常領域への侵襲を極力排除し、「てんかん」原性域を的確に狙い撃ちして焼却もしくは冷却するシステムの開発を目的とした研究を推進している。

これまでの研究進捗状況は、ほぼ計画に沿って推進されているとみられ、概ね適正であると評価できる。

しかし以下の3点について、さらに検討し研究を推進してほしい。

- (1) 研究課題名に明示されている、ソフトコンピューティング技術による「てんかん」原性域の特定方法をできるだけ早い時期に確立されたい。
- (2) 基礎実験としての寒天中の信号源の座標軸の推定に関し、さらに詳細な実験方法、データ処理法推定結果とその検証について示してほしい。
- (3) 倫理委員会の認可が本研究の推進に不可欠であり、体制作りを早急に図ってほしい。

なお、「新型マイクロフリーザー」の試作に必要と申請されていた3Dレーザー顕微鏡は、より重要な設備へ振り替えたとあるが、それはどのような設備であるか。また「新型マイクロフリーザー」の試作はどのような機器で対応しようとするのか説明がほしい。